

〈佐呂間町民憲章〉

進んできまりを守り

明るく平和なまちをつくります

60.11



市を訪れて

広報九月号で富丘の藤田茂治さんと北区の上嶋真由美さんがパーマ市を訪問したことをお知らせしましたが、このたびパーマ市へ行った感想を述べていただきました。

パーマ市の思い出

富丘 藤田 茂治

パーマ市はアラスカ州最大の都市アンカレッジから北へ約一時間ほど車で走った所にある市ですが、人口は、ほぼ佐呂間町と同じです。市街地で三千人ほど、地域全体では、一万人ほどの小さな市です。街の様子も佐呂間と似ていて、まわりは山に囲まれ、街の中を川が流れています。気候は北極圏ともあって夏は晴れた日でやっと二十五度ぐらいになる程度で雲ったり雨が降ったりすると十七、八度まで下ります。日照時間のほうも夏季間は夜中の十二時ごろまで明るいのですが、冬は、午後二時ごろには暗くなるそうです。主な産業は、農業、観光などです。パーマ市のあるマタヌス

カバレイ地域は、アラスカ州の中でも最も耕作に適した地域でこの地域では、野菜や麦類、ジャガイモなどが生産されています。また、家畜は、乳牛、肉用牛、馬、豚、ニワトリ、アヒル七面鳥などが飼われており特に乳牛、肉牛は多いようです。観光は、パーマ市の近郊にある山や湖に、週末や夏のバケーションのシーズンになるとたくさんの人々がやって来ます。私たちが二週間パーマ市に滞在している間、私は、まず、リック・エルンストという人の家へ一週間お世話になりました。その間に特に、印象に残っているのは、まず、パーマ市から、三

四時間かけてドライブをし氷河を見に行ったことです。この氷河はボーテージ氷河といって、その眺めは、とても雄大で、かつ美しいものでした。この氷河は、かなり有名らしく、沢山の車や観光ツアーのバスが来ていました。車で来ている人々の中には、他の州のナンバーも多く見られました。この氷河の帰りにはアリアスカというスキーリゾートにも寄りましたが、その頂上からの眺めもまたすばらしく、スキー場の人の話では、太

平洋を見ながら、スキーが出来るのは、ここぐらいだろうとのことでした。また、リック・エルンストの持つ山小屋へ行った時は、二時間ほど林の中をハイキングし、着いた所は、マッキンリー山の氷河が溶け出来たマツキンリー湖のほとりの丸太小屋でした。そこは電気も水道もなく、あるのはただ「大自然」といった所でしたが、景色はすばらしく、手を伸ばせば届きそうな所にマツキンリー山が見え



左よりナンシーさん、ベニーさん、上嶋さん、柳領事官藤田君、テレーサさん

パーマ市都市姉妹

るのですが、青空にそびえ立つ山は、白く輝き何か人を寄せつけない様な威圧感さえ感じられました。

残りの一週間、私がお世話になったのは、パーマ市姉妹都市委員会委員長のナンシー・マイケルソンさんの所でした。そこでは私が、カナダで生活した時にも感じたのですが、彼らは訪問者を気軽に受け入れ家族同様に扱ってくれました。彼女の家は、パーマ市の郊外にあり、自然を楽しんで生活している様でした。私たちから見ればわざわざ街から離れて住まなくてもいいのではないかと思います。彼女に限らず北米の人々は、自然を大切にしながら生活し、街の中に住んでいる人々も、家の周りには、緑を絶やさない様に芝生を植えたり木を植えたりしている様です。

たった二週間でしたが、とてもよい経験でした。いろいろな人々と話しをする事も出来ましたが、どこへ行っても皆気軽に挨拶をしたり話しをしてくれました。もう行くこともないかと思いますが、チャンスがあればもう一度行ってみたいとでも思っています。

パーマ市へ行って

北区 上嶋 真由美

八月一日、午前十一時五分。不安と期待の入り混じった中、私はアラスカの土を踏みました。この日から二週間は、今考えるような生活でした。

高層ビルの立ち並ぶアンカレッジ市を一步出ると、そこはヘラ鹿（「ムース」と呼ばれている）の出没する山や、鮭を手掴みで食う川のある自然に恵まれたアラスカ本来の姿がありました。パーマ市は車で約一時間の三千人足らずの小さな町でした。しかしながら、公共施設は大変充実しており、近代的な病院や、コンピューターを駆使した警察、それに付随する拘置所、裁判所、蔵書二万冊という新しくできた図書館、老人ホーム、観光案内所や、野球場、フットボール場、室内プール等、うらやましいかぎりでした。

とろろだと感じました。アンカレッジから約六十八キロ離れているにもかかわらず、パーマ市に家を建て通勤する人が増えてきているということでした。実際、町の住民は心優しく、気さくで、活動的でした。私達は、彼らと氷河を見に行ったり、鮭釣りに行ったり、「キャビン」という湖畔の別荘で一夜を明かしたり、カヌーに乗ったり、ピクニックをしたりと、アラスカの自然を満喫しました。大変驚いたことに、アラスカでは、大



部分の家でキャンピングカーや別荘を所有していました。

そこで、余暇について日本と大きな違いを感じました。日本の場合、ただ働きバチのように働いてたまに余暇を楽しむといった具合ですが、アメリカでは余暇を楽しむために働いていました。日本には見られない精神的余裕がありました。私のように、耐えず明日のことを気にして心の底から余暇を楽しむことのできない教師には、うらやましい限りでした。

このような点も含めて、今回のパーマ市訪問は、大変実り多いものでした。生涯忘れることのできない良い思い出となるでしょう。

このような素晴らしい機会を与えて下さいました町のみならず心に心より感謝申し上げます。今後も両町がさらに友好を深めることを希望します。

また、今後もより多くの町民が、パーマ市を訪問されることを切にお願い致します。

最後になりましたが、パーマ市からのナンシー・マイケルソンさん、ペニー・リーさん、スリーサ・カーターさんが、大変有意義な滞在だったと喜んで帰国したことを御報告申し上げます。

議会のうごき

第七回 臨時町議会

第七回臨時町議会が
十月二十八日開会され
予算などが議決されま
した。

予 算

●昭和六十年佐呂間町一般会
計補正予算（第八号）

千六百五十一万四千円が追加
され、予算の総額が三十八億四
千七百四十五万円になりました

主な補正額（千円以下繰上げ）
（才入）

・普通交付税 六百五十一万円
・第五回全国豊かな海づくり大
会道実行委員会事業寄附金
一千万円

報 告

●専決処分へ昭和六十年佐呂
間町一般会計補正予算（第七
号）

承認
七十万二千円が追加され、予
算の総額が三十八億三千九十三
万六千円になりました。

主な補正額（千円以下繰上げ）
（才入）

・網走海区漁業調整委員会委員
補欠選挙委託金 三十五万円
・交通安全対策特別交付金
三十五万円
（才出）
・網走海区漁業調整委員会委員

（才出）

・用地購入費 九十六万円
・第五回全国豊かな海づくり大
会道実行委員会事業負担金
一千万円
・佐呂間墓地道路用地測量委託
料 百二十五万円
・暖房用井戸試験掘工事外
四百三十万円

第6回 臨時町議会 町長 行政報告 （要旨）

●湧網線関係に ついて

湧網線特定地方交通線対策
協議会が十月十六日、網走市
で開催される予定であります
議題は第一回の協議会で決
定した冬期実態調査の結論、
代替輸送についてのバス転換
や第三セクター等の検討につ

●カルシウム 工場について

かなり以前からホタテの貝
殻を利用したカルシウム工場
建設の話がありました。が、
会社の内容、その他を見極め
て、調査を行う様考えてお
りました。最近になり、急に
工場の建設をしたいという交
渉があった訳です。

敷地についても、当初より
町から貸して欲しいという希
望を出しており内容等充分調
査して急ぐようでしたら臨時
議会を招集して町の対応を決
定したいと考えております。

いて行われることになってお
ります。

意見書

補欠選挙費 四十五万円
・農道整備事業模式図作成委託
料 二十五万円

●人事院勧告の完全実施を求め
る要望意見書

提出議員 川又・福田・中谷
千葉・定久・佐藤
原案可決
議員

国民年金に任意加入している

サラリーマン(厚生年金加入)の 奥さん届出はお済みですか？

●昭和六十一年四月から新年金がスタートします。
年金制度の改正で、厚生年金または船員保険の加入者であるご主人に扶養されている奥さまは、国民年金の保険料を納めなくても老齢基礎年金が受けられるようになります。

国民年金

このような被保険者を第三号被保険者といいますが、第三号被保険者として取り扱われるためには、市町村役場に届出て確認をうけることが必要となります。

●届出を忘れると年金が受けられなくなります。
この届出の手続きを忘れずと、引き続き保険料を納めていただくことになったり、将来、年金を受けられなくなったりし

国民年金任意加入被保険者現況届書

市区町村 受付印

国民年金任意加入被保険者現況届書

記入にあたっては、同封しましたパンフレットをよくお読みください。

下記のとおり届出します。

昭和 60 年 11 月 25 日

都道府県知事 殿
市(区)町村長 殿

住所 千代田区霞が関1-2-3
(届出人) (印) 03-(123)-4567
氏名 国年花子

被保険者の氏名 同上

100
チヨタ 2
カスミカセキ 1-2-3
コフネ ハナコ 様

① 国民年金の記号番号 2150-012345
② 生年月日 5200101
③ 現況 ① 厚生年金保険又は船員保険の加入者である配偶者の収入により主として生計を維持している。

④ 配偶者の氏名 フリガナ コフネ ハナコ
氏名 国年次郎
⑤ 配偶者の生年月日 3. 大正 昭和 170701

この欄は、あなたの配偶者の年金手帳等により記入してください。

⑥ 厚生年金保険の記号番号・船員保険の年金番号
制コード 10 記号(年金)番号 2105123456

●配偶者の勤務先事業主確認欄●

① 届書記載の被保険者は、厚生年金(船員)保険に加入している配偶者の被扶養者(健康(船員)保険の被扶養者(又は所得税法上の控除対象配偶者))であること
② 届書記載の厚生年金保険の記号番号(船員保険の年金番号)は、当該配偶者のものに相違ないことを確認する。

昭和 60 年 11 月 26 日

(事業所) 所在地 千代田区霞が関3-2-1
名称 株式会社日本経済新聞社
事業主氏名 代表取締役 伊藤 正 大 印

●お手もとの現況届は、昭和六十一年一月三十一日までに提出してください。

今回届出をしていただく方には、次のような「現況届書」をお送りしてあります。この用紙に所要事項を記入し、ご主人の勤務先で確認をうけたうえで、役場年金係窓口(昭和六十一年一月三十一日までに提出してください)。

税のしるべ

●年末調整

サラリーマンの給与についての所得税は、毎月の給料やボーナスから源泉徴収される

ことになっていきますが、その年最後の給料やボーナスが支払われるときには、過不足額の精算が必要となります。この精算手続を「年末調整」と呼んでいます。

次のような場合には、早めに勤務先へ所定の書類を提出してください。

- ◇扶養親族などに異動があった場合：「給与所得者の扶養控除等(異動)申告書」
- ◇本人が今年中に支払った国民年金の保険料、生命保険料、損害保険料などがある場合：「保険料控除申告書」
- ◇五十八年分、または五十九年分の確定申告で住宅取得控除を受けた場合：「住宅取得控除申告書」及び税務署から送られた「住宅取得控除証明書」



まちの話題

第十六回

老人研修会

第十一回

高令者スポーツ大会

十月十二日、町総合体育館において、第十六回老人研修会と第十一回高令者スポーツ大会が町内十七老人クラブから約三百名が参加し盛大に行われました。午前中の研修会では、船木町長からの「老人の健康管理について」と題する講演があり、皆さん真剣に聞きっていました。その後、アトラクションとし



て、各老人クラブの唄と舞踊が午後からのスポーツ大会では、バレーボールリレーや尻圧測定など十種目の競技が繰り広げられ楽しい一日を過ごしました。

尚、スポーツ大会の結果は次のとおりです。

優勝 富武士・若里・北
準優勝 共立・大成・啓生
三位 武士・朝日・富丘

第七回遠軽ブロック

身体障害者福祉研修会

十月二十日、第七回遠軽ブロック身体障害者福祉研修会が、町民センターにおいて、遠軽ブロック町村身体障害者分会員及

び関係町村事務担当者約百二十名が参加し開催されました。

この研修会は、遠軽ブロック町村身体障害者の社会的更生意欲の向上と、更生援護の助長を図るため同ブロック協会が、持ち回りで毎年開催しているもので、今年は、佐呂間分会が主催しました。

研修会では、船木町長、山口社会福祉協議会長等が来賓の挨拶をした後、「身体障害者巡回診査、更生相談の実施地区を管内二地区にしてほしい」等、網走支庁支部への三つの要望事項を決めました。

次いで、次期開催地を生田原町と決め、最後に内藤義明氏から「人として生きる喜び」と題する講義を受け熱心に耳を傾け



ておりました。

林野火災予防標語

最優秀入選

佐呂間中二年

岸あきさん

広報六月号でお知らせしました昭和六十年林野火災予防ポスター・標語の本町入選者の中から、全道へ応募していただきました佐呂間中学校二年岸あきさんの作品が、標語の部で見事に最優秀に輝きました。

今回の入選は、全道から中学生標語の部で三しか入選しなかった中での最優秀に選ばれたものです。



町政日誌

10月	11日	10日	5日	4日	10月
12日	11日	10日	5日	4日	11月
町老人研修会及び高令者スポーツ大会	行政改革推進本部会議産業建設常任委員会	例月出納検査	会	第四回サロマ湖駅伝競争大会	第六回臨時町議会
第七回遠軽ブロック身体障害者福祉研修会	愛の声かけ運動標語選考委員会	第十一回農業委員会防犯標語審査会	佐呂間郵便局落成式	第七回臨時町議会	佐呂間PTA連合会教育懇談会
23日	20日	12日	11日	10日	9日
22日	21日	20日	19日	18日	17日
26日	25日	24日	23日	22日	21日
27日	26日	25日	24日	23日	22日
28日	27日	26日	25日	24日	23日
31日	30日	29日	28日	27日	26日

十月十八日、網走支庁林務課長が佐呂間中学校を訪れ、道からの賞状と記念品が岸あきさんに授与されました。

カボチャを配り

交通安全をPR

佐呂間青年団
交通安全協会若佐分会

輸送繁忙期の交通安全運動期間中の十月二十日、西富交通検問所前で、佐呂間青年団(団長鈴木隆博さん)による街頭啓発が行われました。

この啓発運動は、団員の交通安全意識の向上と町内の事故がへるようにと昨年から実施しているものです。



この日は寒い一日でしたが、青年団員、交通指導員等約二十五名が参加し、道行くドライバーに団員が考えたユニークな標語をはった佐呂間特産のカボチャ百五十個を配り、交通安全を訴えていました。

又、この日の午前中には交通安全協会若佐分会による交通安全パレードと街頭啓発が行われ、分会でもドライバーにカボチャを配付しシートベルト着用、スピードダウンを訴えていました。

佐高生

勤労体験学習

十月二日、佐呂間高校一年生

による勤労体験学習が行われました。

この日は、一年生三クラスがそれぞれ佐呂間市街の道路清掃図書館、児童館周辺の石やごみを捨てたり、老人福祉センター前のゲートボール場で老人とのゲートボールを行いました。

特にゲートボールでは、今までゲートボールをしたことがあまりない高校生達でしたが、そこは若さでカバーし、おじいちゃん、おばあちゃん達と和気あいあい楽しいひとときを過ごしました。

このような奉仕活動を通して人格を磨き、ひとまわり大きな人間として成長することでしょう。



第四回サロマ湖

駅伝競争大会

町体育協会主催の第四回サロマ湖駅伝競争大会が、十月十日体育の日に行われました。

この大会は町民の体力向上を目的に開催されているもので、今年は町内十チーム、町外のオープン参加一チームの計十一チームが役場前をスタートし、浜佐呂間、富武士、若里等を通過ゴールの役場まで七区間、約四十四キロで健脚を競い合いました。

当日は駅伝日和の中、午前十時にスタート、沿道での熱列な声援を受け、一路ゴール目指して走っていました。

レースは高校野球部Aと浜佐

順位	チーム名	時間
1位	浜佐呂間走友会	3:03:28
2位	高校野球部A	3:04:31
3位	知来青年団	3:09:23
4位	役場走ろう会	3:09:53
5位	栄A	3:12:10
オープン参加	湧別町役場	2:54:15

区間	ラッパ賞
1区間	今野 晃(高校野球部A)
2区間	遠藤 修(高校野球部A)
3区間	川端 英一(浜佐呂間走友会)
4区間	青野英一郎(高校野球部A)
5区間	桜井 政彦(まいどお騒がせ会)
6区間	湯浅 茂夫(役場走ろう会)
7区間	玉井 伸一(役場走ろう会)

呂間走友会がデットヒートを繰り上げ、最終区間で高校野球部Aを抜いた浜佐呂間走友会が、初優勝を飾りました。尚、各チームの成績、区間最高記録は別表のとおりです。



お知らせ

町や関係機関からの
お知らせ、行事の案
内をのせています。

自動車の登録手続き はお済みですか？

次のような場合には、自動車の登録手続きが必要です。

- 一、住所を変更したとき
- 二、自動車を買ったり、買ったとき
- 三、廃車にしたとき
- 四、北見以外のナンバープレートで使用しているとき
- 五、月賦代金の支払いが終ったとき

役場の窓口（企画調査室交通係）に自動車登録申請案内書（自動車使用上のご案内）がありますのでご利用下さい。

又、不明な点がありましたら

次へお問い合わせ下さい。

北見陸運支局
北見市三輪二三番地の二
☎〇一五七―二四―七五八一

町議会議員選挙

運動費用の収支について

九年二十二日執行されました

りです。

町議会議員選挙における選挙運動費用の収支の状況は、次の通り

〇支出制限額（法定費用）

七七八、〇〇〇円

候補者氏名	収入総額	支出総額
為 広 紀 義	四三三、三七五円	四三三、三七五円
中 谷 繁 孝	四〇四、二四四円	四〇四、二四四円
片 平 俊 男	三八四、四七〇円	三八四、四七〇円
船 木 長 作	三二〇、七五〇円	三二〇、七五〇円
林 俊 彦	三四九、二四一円	三四九、二四一円
香 川 茂	三六四、六五〇円	三六四、六五〇円
定 久 保 男	三三五、五八九円	三三五、五八九円
川 又 利 夫	二二三、四二〇円	二二三、四二〇円
千 葉 四 郎	三九一、〇七五円	三九一、〇七五円
佐 藤 良 一	一四七、四五三円	一四七、四五三円
齊 藤 公 男	二三八、六〇〇円	二三八、六〇〇円
上 杉 勤	三五六、二六〇円	三五六、二五〇円
千 葉 清 美	一六八、九〇〇円	一六八、九〇〇円
惣 田 隆 次	一二九、八〇〇円	一二九、八〇〇円
福 田 幸 輝	二四九、五〇〇円	二四九、五〇〇円
田 宮 定 夫	三三一、五〇〇円	三三一、五〇〇円
室 井 四 郎	八一、六〇〇円	八一、六〇〇円
小 高 賢 治	四六八、九七〇円	四六八、九七〇円
堀 米 克 雄	四一四、二〇〇円	二四九、七三〇円
佐 藤 栄 士	四〇〇、〇〇〇円	一八〇、九九〇円

※以上公職選挙法第一九二条の規定により公表します。

（選挙管理委員会）

家屋の異動届を しましょう

固定資産税は、毎年一月一日現在、町の固定資産課税台帳に登録されている事項に基づき当該家屋の所有者に課税されます。家屋の異動（売買、取り壊し贈与、相続）があっても異動届がなければ課税台帳を修正することはできません。

異動のあったときは、早めに役場財政課資産係へ届出をしてください。

なお、年内に登記が完了するものは、届出の必要はありません。

（財政課資産係）

年末資金の ご準備はお早めに

商品仕入れ、ボーナス支払い
買い掛け金、手形決済等の年末
資金を必要とされる方は、お早
めにご相談下さい。

▽融資額

二千五百万円以内（特定の設

備資金三千五百万円以内）

▽融資期間

- ・運転資金 五年以内
- ・設備資金 十年以内
- ・（特定の設備資金）十三年以内

▽利率 年七・〇パーセント

▽保証人

原則として一名以上必要
（必要に応じて担保を提供し
ていただく場合があります）
この他、業種や資金の使いみ
ちにより、三千五百万円まで利
用できる制度もあります。

詳細については、商工会及び
国民金融公庫北見支店までお問
い合せて下さい。

- ゴミは定められた日に出
しましょう
- ゴミは収集日の朝8時ま
でに出しましょう

（収集日以外には絶対に出さないように）
しましょう

防犯・社会を明るくする運動 ポスター・標語 入選者発表

防犯及び社会を明るくする運動の一環として、犯罪や非行防止の意識高揚を目的に先に募集しておりましたポスター・標語作文の審査が十月二十四日行われ、入選者が次の通り決定致し

ましたのでお知らせします。
 小中学生、高校生の皆さん多数の応募ありがとうございました。
 尚、作文については入選がありませんでした。

ポスターの部



若佐中二年

蓬田友恵



若佐中二年

福田幸嗣



若佐中二年

榎部京子



若佐中二年

柴田剛毅

標語の部

★小学生の部

●でかける前に

かならずかけよう家のかぎ

幌岩小 五年 井上 信二

●非行防止は

まず明るい家庭から

幌岩小 五年 工藤 彰三

●かぎの確かめ

一度と言わずもう一度

幌岩小 五年 中村 紀恵

★中学生の部

●気をつけよう

夜道のうしろに悪魔の手

佐呂間中 一年 小林 正和

●こわいのは

知らない道よりなれた道

佐呂間中 一年 金子 恵

●家のカギ

心のカギもしっかりと

佐呂間中 一年 今井 貴演



若佐中二年

山下里絵



若佐中三年

平戸鉄也

● 黒いかげ

あわてずしつかりー〇番
佐呂間中 一年 岡谷 広司

● 「戸締まり」は

出かける前の合いことは
佐呂間中 一年 森 和幸

● 外出は

声かけカギかけ忘れずに
佐呂間中 一年 菊野 有紀

● 気をつけよう

甘い誘惑黒いわな
佐呂間中 三年 小山美紀夫

● 犯罪の闇をなくして

明るい社会
佐呂間中 三年 小野江芳幸

● 非行に走れば

親の心配苦勞の種
若佐中 三年 増子 直美

● ちよつとした

軽い気持ちが悪の道
若佐中 三年 田中紀登美

● おでかけ前

家のかぎと心のかぎを
幌岩中 三年 沖田 哲也

● 防犯は一人一人の心がけ

幌岩中 三年 中村 浩

★高校生の部

● 防犯で明るいよい町佐呂間町
一年 井谷 知満

● 誘惑に思わず手が出る悪の道
一年 斉藤真紀雄

● かぎかけよう

心にかけて戸にかけて
一年 諏訪間かつ枝

● 手を出すな

欲しいものでも人のもの
一年 橋本恵理子

● 小さな不注意 大きな損害

一年 山腰 順子

● でき心

これを抑える小さな勇氣
一年 伊勢 史郎

● ついのびる

その手を止めねば犯罪者
二年 西村 博幸

● 悪い芽を

切って明るい花さかそう
三年 梶 政利

● よしなさい
やってからではもう遅い

三年

井谷 浩一

● もう一度

● 気をつけよう

あまい言葉と覚醒剤
三年 高橋 厚子

三年

自分のおこない見直そう
土本 千晶

火災予防ポスター・標語

コンクール入選者発表

秋の火災予防運動の一環として
遠軽地区広域組合管内各小中
学校児童生徒を対象に火災予防
ポスター及び標語を募集し、次
の方々が入選しました。

★ポスターの部

北海道消防協会遠軽分会々長賞
佐呂間小 三年 玉井智栄子

★標語の部

北海道消防協会遠軽分会々長賞
● 気をつけて、かくれ火あそび
大きな火災
仁倉小 六年 鳴海 リエ

● 火のもとを、しつかり消して

平和な日
佐呂間中 一年 内海 充尋

遠軽地区危険物安全協会々々長賞
● きけんだぞ、わすれちゃいけ
ない、火のしまつ

佐呂間小 三年 玉井智栄子



青色決算説明会

● 日時 12月2日(月) 午後1時30分

● 場所 産業会館講堂

● 対象者 営業所得者

● 問い合わせ先 北見税務署・商工会

社会教育だより

「愛の声かけ運動」

標語入選作決定

「愛の声かけ運動」の一環として実施している標語コンクールの入選作品が、標語選考委員会（委員長藤田文哉氏他四名）の厳正な審査の結果、入選十一佳作十七の作品が決定致しました。

今回のコンクールには、小学校一年生から高校三年生まで、四百八十四名、五百四十七作品が応募され、審査も大変でした。尚、入選作品のうち六点が、あいさつ道路（天光堂・中学校）の看板に使用されます。

入選作品は次のとおりです。

★小学校低学年の部

おはよう げんきな声で
またこんにちは

若里小一年 本間 満

朝 昼 ばん 元気なあいさつ
わすれずに

仁倉小三年 藤沢 公彦

★小学校高学年の部

あいさつを いえる子良い子
あかるい子

若里小四年 矢吹 早苗
あいさつは 大切な心と心の
つなぎあい

★中学校の部

あいさつを かかわす家庭に
非行なし

佐呂間中二年 天内 秀哲

「さようなら」

また会おうという 誓の言葉
若佐中一年 五味志津江

あいさつで つくろう佐呂間の
明るいあした

佐呂間中一年 森田 香

あいさつは

心をうつす 鏡です

佐呂間中一年 高垣 美香

★高校の部

「ありがとう」
物よりまざる おくりもの

佐呂間高二年 越智 正純

あいさつは 人と人との
心のふれあい

佐呂間高一年 三谷 志穂

「おはよう」は

明かるい今日の 出発点

佐呂間高一年 峯田亀代美

※ 佳作作品は、小学校低学年の部一点、小学校高学年の部六点、中学校の部五点、高校

の部五点でした。

町民講座(2)

料理教室熱心に受講

本年度から開講された町民講座「料理教室」の第一回が、十月二十六日、町民センター調理室において、十四名が参加して行われました。

今回は、サロマト産のカボチャを使った料理で、カボチャの丸蒸し、カボチャの揚げ菓子、カボチャジャムの三品を作りました。

全員で試食しましたが中々の味で、講師の阿部陽子氏（普及所生改）の「普段調理をしてい



るお母さん方ばかりなので、手際よく、美味しく出来上りました。の講評で受講者は皆満足顔。今年は昨年よりカボチャの消費量が少し多くなりそうです。

遠軽地区婦人研修会

盛会裡に終わる

遠軽地区七ヶ町村の婦人を対象に、佐呂間町を会場として地区婦人研修会（主催・遠軽地区婦人研修会実行委員会、主管・佐呂間町婦人団体協議会、会長船木馨さん）が、十月十三日、開催されました。

研修会には百三十名の婦人が参加、午前中は町保健婦の大崎椎名両氏を講師に、「家庭における健康管理」―合成洗剤、食品添加物を考える―と題し、映画と講義で合成洗剤、食品添加物の有害性と環境破壊について学習、参加者はうなずきながら日常生活をふりかえり、今後の生活に取り入れるべく、熱心にメモを取っていました。

午後からは会場を町民センターから体育館に移し、ミニ運動会。

上に乗せて走る「サロマ鞍馬」等八種目に快い汗を流し、楽しい交流会となり、再会を誓い合っておりしました。

「愛の声かけ運動」

※あいさつは まず 家庭から

毎月5日・20日は
「あいさつの日」です。

社会を明るくする運動佐呂間町実行委員会
佐呂間町・佐呂間町教育委員会



ゴールドリーグ

順位	チーム名	勝	敗
1	トロイーズ	16勝2敗1分け	
2	農協	14勝2敗3分け	
3	ロッキー	15勝3敗1分け	
4	役場	15勝4敗	
5	栄モンキーズ	14勝4敗1分け	
6	ゴールデンラッツ	13勝4敗2分け	
7	ラスターズ	13勝5敗1分け	
8	ファンクス	11勝6敗2分け	
9	林産	12勝7敗	
10	全林野みなも	10勝9敗	
11	佐呂間スターズ	9勝9敗1分け	
12	エラーズ	8勝11敗	
13	バイレーツ	6勝12敗1分け	
14	キューションズ	6勝13敗	
15	佐呂間中学校	5勝14敗	
16	農協SS	4勝13敗2分け	
17	ドアーズ	4勝15敗	
18	ローカルズ	4勝15敗	
19	ドカターズ	2勝17敗	
20	農協メート	1勝17敗1分け	



シルバーリーグ

順位	チーム名	勝	敗
1	チャレンジ	12勝1敗3分け	
2	パワーズ	12勝3敗1分け	
3	ラスターズ	11勝3敗2分け	
4	トラーズ	10勝5敗1分け	
5	プレイボーイ	8勝7敗1分け	
6	コンドル	6勝9敗1分け	
7	ビクトリー	6勝10敗	
8	ハッピーズ	2勝14敗	
9	サロマイーグル	15敗1分け	

トロイーズV2

チャレンジも優勝

五月に開幕したゴールド、シルバー両ソフトボールリーグは六ヶ月の熱戦を終え、十月をも

つて閉幕致しました。

ゴールドリーグでは、トロイーズが史上初の二年連続優勝を達成、シルバーリーグでは、チャレンジが優勝しました。

最終結果は、次の通りです。

文化の祭典

町総合文化祭終了

十月三十日から十一月三日まで、町民センターを会場に、第十九回佐呂間町総合文化祭が、町文化連盟主催で開催されました。

この文化祭は、交化連盟の最も力を入れている事業で、多くの町民が出品、出演、観覧する本町における文化のビッグイベントです。

展示部門では、書道、手芸、写真、絵画等十サークルと児童寿大学生の出品した約四百点を展示、芸能部門では、詩吟、民謡、舞踊、カラオケ等九サークルから約七十名が出演し、観衆



をわかせました。

“くらしの講座”

終了

本年度から新規事業として、教育委員会と北海道消費者協会共催の「くらしの講座」が、去る十月二十六日、町民センターにおいて開催されました。

この講座は、主婦を対象に家庭における食生活を考えていたかどうか、今問題になっている「食品添加物」、「合成洗剤」にスポットをあて開講したものです。

映画や実験を中心に進められ参加者からも熱心に質問が飛び交い、認識を新たにしていまし



た。

残念なことは、参加者が大変少なかったことです。

自分達の健康は自分達の手で守る、という意識が大切ではないでしょうか。

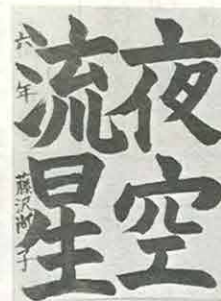


ぼくとわたしの作品

今月は仁倉小学校のお友達を紹介します。



大きな山がせまってくるような大たんな筆のはこびがよい。



形がととのい引きしまって、流れ星が見えるようです。



一年 小野 茂之
仔牛に牛乳をやっている様子が伸び伸びとかかれています。お母さん牛の表情もおもしろい。



六年 中村そのみ
友だちの特徴をよくとらえ大に表現されています。手の組み方、大きさなどもう少し変化がほしいですね。

交 差 点

▶昭和60年交通事故発生状況

(10月末現在)

発生件数	12	(11)
死者	0	(1)
負傷者	14	(11)

()内59年同期

▶交通事故死ゼロ500日目標

達成日 昭和61年4月8日

10月末現在 341日です。

▶昭和59年度交通安全標語入選作

信号を守る気持ち事故ふせぐ

(富武士小 渡辺 友浩)

ちょっと一杯 そのひと言が死をまねく

(佐呂間小 日沼 真琴)

交通ルール守れば ぼくらの青信号

(若 佐 中 宇佐 幸晴)

ベビーフェイス



浜佐呂間 日脇 勉さん

長女 梨 沙ちゃん

昭和五十九年十二月十日生

皆さん初めまして、私、梨

沙と言います。

みんなの仲間入りして十一ヶ月になります。

女の子なのに、男の子かいなんて言われます。

今、一番興味あるのがテレビ!! 歌が入ると上手に踊ります。

犬も大好きです。

つたい歩きもするし、はつてどこへでも行きます。

“上手 上手”バンザイ、“おいしいね”など数多くの芸もします。

お父さん、お母さん、自満の梨沙です。

街で見かけたら、声をかけて下さいね。

飲酒運転追放!!

重大事故を引き

起こす飲酒運転は

絶対やめましょう



運転免許証

更新講習会

▽日時 十二月五日(木)
午後六時から

▽場所 町民センター集会室
※講習は、有効期限(誕生日)の一年前から受講できます。
更新手続きは、有効期限の一ヶ月前からです。

尚、受講される方は、免許証筆記用具をご持参下さい。
(交通安全協会佐呂間支部)

昭和六十一年度 赤十字看護学生 募集

日本赤十字社北海道支部では看護婦として必要な専門知識と技術を習得させると共に、赤十字精神を理解し、災害救護等の

赤十字の行う業務に従事することが出来る赤十字看護学生を募集しています。

▽入学願書受付期間
六十年十二月一日より
六十年一月二十八日必着

▽応募資格

(一)高等学校卒業者又は卒業見込者
(二)心身共に健全で将来赤十字看護婦となるに適すると認められる方

(三)在学中支部長の指定する寄宿舎に入舎できる方

(四)卒業後二年以上引き続き赤十字病院に勤務の可能な方

▽修業年数 三ケ年
▽学費等

授業料は徴収しません
入学保証金等として十万円を納付していただきます

※詳しくは、民生課社会係までお問い合わせ下さい。

ご寄付

ありがとうございます

▽香典返しを廃して
社会福祉協議会へ

(亡夫義一さん)

幌岩 佐々木ときはさん

(亡父惣一郎さん)

若里 中谷 清さん

(亡父彦平さん)

知来 山本 豊利さん

(亡夫繁見さん)

中園 今井アサ子さん

(亡夫昭次さん)

西富 藤本 栄さん

若佐老人クラブへ

(亡夫繁見さん)

中園 今井アサ子さん

(亡母コトさん)

札幌市 長屋 興一さん
(亡父正二郎さん)

幸町 高橋 和夫さん

●栃木老人クラブへ

(亡妻チエ子さん)

栃木 松浦 勇さん

●全快祝を廃して

社会福祉協議会へ

知来 片平トミエさん

幸町 吉野 文敏さん

栃木 松浦槌太郎さん

知来 早坂 勝行さん

●富武老人クラブへ

富武 渡辺 昇太さん

富武 横山 フミさん

●その他

●社会福祉協議会へ

佐呂間カラオケ同好会

商工婦人部

●若佐保育所へ

栃木老人クラブ

若佐老人クラブ

武丘老人クラブ

富丘老人クラブ

朝日老人クラブ

●図書館へ

西富 神原ユキノさん

富武 菅生一技さん

若佐郷土史編集委員会

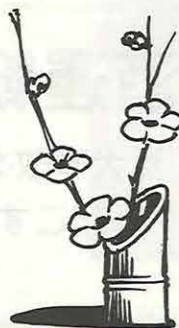
横濱市 小林 淑郎さん

私たちのまち

(前月比)

人口 8,488 (-26)
男 4,093 (-13)
女 4,395 (-13)
世帯数 2,598 (-4)

10月31日現在



全国銀行協会
札幌市北海学園
●特別養護老人ホームへ
永代町 船戸 品さん
幸町 五十嵐恒幸さん
佐呂間町育成会
佐呂間町農業技術センター
商工婦人部
端野町老人大学
吉野 商店
《奉仕》
佐呂間園芸同好会
佐呂間日赤奉仕団
《慰問》
八州